## オープンワークショップを開催

昨年のワークショップに参加していただいた皆さんに集まっていただき、まちなか見学ツアーと座談会を行いました。当日は13名の方に参加していただきました。

### ◎座談会での声

大人からこどもまで楽しめる、いつでも賑わっている感じの場所ができたらいいな。

ここで野菜を売ったり、そういうイベントができる広場があればいいな。人が行ってみようと思うきっかけにもなる。再整備に向けて、頑張ってるんだなというのは感じましたので、期待して楽しみにしております。

来年は、陸橋を使ってもっと立体的な社会実験を行い、駅前を立体利用したらどうなるんだっていうことを、みんなが想像できたらいいな。

駅前で色々と暗中模索しながらやっている中で、将来、茨木もよくなってるのかなということを楽しみにしながらいつも歩いています。

賑わいのきっかけになるようなものがちょこちょこあると、ふらふらっと回遊してくるきっかけにもなるんじゃないかな。普通に歩いてる人が見て、入ってみようかなって思う雰囲気を作ることがポイントなんじゃないかな。

街がすっかり変わるのもいいんだけれども、年を取っても昔を思い出せるような、心が温かいような気持ちになれるように、残すところは残してほしいなと思います。

### ◎参加者アンケート

オープンワークショップに参加していただいた方へのアンケートでは、「今回の社会実験を通して、JR茨木駅周辺をより良くするため、今後、引き続き活動したい・協力したいと思いましたか」の問いに、全員から「そう思う」との回答を得ることができ、今後も一緒にまちづくりを考えていく市民との繋がりを確認できました。

**主な意見**

- シビックプライドを持てるまちにしていきたいので、これからも参加して、考え、実行したいです。
- 今後も機会があれば参加したいと思います。
- 協力します。魅力的な茨木になるようお手伝いします。
- もちろん今後の社会実験に参加していきたい。これが実現するにはあと何年かかるかわからないけど、それに向かっている活動に参加するだけでも楽しいです。

## 考察

今回の社会実験では、当日のアンケートにより、ＪＲ茨木駅西口駅前での広場空間に対する多様なニーズが確認されました。一方で、実際に駅前空間を使用するまでの各種手続きや使用制限等も確認され、駅前空間の多様なニーズに対応するための課題も明らかになりました。今後、広場利活用の仕組み・エリアマネジメントといった運営面について、市民・地域の方と引き続き再整備に向けた取組みが必要になると考えております。

## 02 再整備に向けた今後の取組み

まちづくりビジョンで掲げたまちの将来像を実現するため、整備コンセプトや基本方針、土地利用イメージをまとめた基本計画素案を作成し、駅前周辺整備基本計画協議会において、市民委員や学識経験者、関係団体と意見交換を行いながら基本計画案をまとめてまいります。引き続き多くの方の声を聞き、JR茨木駅西口駅前の再整備を皆さんと一緒に着実に進めていきたいと考えております。

■発行・問い合わせ先
茨木市都市整備部市街地新生課
電話番号：072－620-1821　FAX：072－620-1730
Mail：shigaichi@city.ibaraki.lg.jp
発行：令和６年１月

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。